

平和を求めて
26
私の町の戦争跡



「家庭鉱脈」の名で

戦局の悪化と武器などの物資の不足を補うとして一九四一（昭和16）年八月三十日、国は金属類回収令を公布しました。この時代に生まれた新語が「家庭鉱脈」というキャッチコピー。家庭のあらゆる金属が根こそぎ回収されました。一九四三（昭和18）年になるとキャッチコピーは「まだある金属、出せいまだ」で非常

都内各地

戦前の「金属回収令」で供出させられた
大仏、団十郎像、ライオン像も

上野にも大仏がありました。上野の青銅製大仏は火災や関東大震災の被害を受



上野に大仏があった

回収が強化されました。東京でも多くの金属物資が供出させられました。今回はそのいくつかを訪ねました。



三越のライオン像

日本橋三越のライオン像（写真Ⅱ右）。待ち合わせの名所のこの像も供出されました。ところが戦後、偶然、東郷神社で溶解されずに残っていたのが発見され現在の位置に戻されました。

有楽町の太田道灌像

有楽町の旧都庁にあった太田道灌像（現在は国際フォーラム内。写真Ⅱ左上）。この初代の像も供出させられ、現在の像は戦後再建されたものです。



団十郎「暫」像

浅草寺境内には明治の名優市川團十郎の「暫」像（写真Ⅱ左）があります。

谷中の川上音二郎像

谷中墓地に川上音二郎像の台座（写真Ⅱ右）が残っています。台座上にあった像は一九四二（昭和17）年十一月に供出されたもの。



す。この像

一九八六年に再建されたもの

学士会館の大灯籠

神田・神保町にある学



忠犬ハチ公、二宮尊徳像なども

士会館。この館のシンボル「大灯籠」（写真Ⅱ左）も一九四三年十二月に供出。二〇〇二年に複製されました。

写真はありませんが、渋谷駅前の忠犬ハチ公像（戦後再建）、「二宮尊徳翁幼少像」（再建の石像）

（再建の石像）目黒区立田道小学校をはじめ、各地に存在します。